



# 学校だより

横浜市立六つ川台小学校

7月号

令和4年6月30日

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawada/>  
E-mail: [ky-e-mutudai@city.yokohama.jp](mailto:ky-e-mutudai@city.yokohama.jp)

## いろいろ工夫して3年目の夏を

校長 本間 明

夏ですね。コロナ禍の3年目。今年も水泳学習が始まりました。

六つ川台小ではコロナ禍の1年目、2020(令和2)年には水泳学習を行いませんでしたが、昨年2021(令和3)年は、全学年で水泳学習を行いました。

密室、密集、密接の3つの密を避け、プールでもお互いの距離を取って学習に臨みました。

人数が多いと、お互い十分な距離をとることができないため、プールで密になってしまいます。

本校は一学年あたりの人数が、多くても50人程度ですので、プールでも適切な距離をとることができます。

天気の良い日は、今年も子どもたちがプールで元気に水泳学習に取り組んでいます。

さて、気温の高い夏になると、心配されるのが熱中症です。

感染症を防ぐためのマスク着用生活が3年目になりましたが、暑い季節はこのマスクが熱中症の原因になる場合があります。

激しい運動をする時は、息苦しさをもたらしめます。

せっかくのマスクが、健康のためによくないことになってしまっています。

マスクをしているのは健康を守るためですから、必要に応じた着脱が大切です。

子どもたちには、外にいる時や、運動をする時などはマスクを外すように促しています。

登下校時や、校庭で遊ぶとき、体育の時などですね。

水泳学習の時はもちろんみんなマスクを外していますが、そうでない時は、マスクを外すのに抵抗がある子もいるようです。

感染症への不安が理由の場合もあるでしょうが、マスクをしているのが当たり前になり、顔を全部出すのが恥ずかしいという思いもあるようです。

ただ、給食の時はみんなマスクを外していますし、海外の例を見ても、これからの世の中はだんだんマスクを外す方向に動いていくでしょう。

私も毎週の朝会で子どもたちに、運動の時や外にいる時はマスクを外すよう投げかけています。

ご家庭でも、お子さんのマスク着用について、話し合う機会をもってみてください。

暑い毎日。十分な休養とバランスの良い食事をとって、夏バテしない元気な体をつくりましょう。